資料1－1

【航空科学技術関連】 グリーンイノベーションの推進及び豊かで質の高い国民生活の実現に資する航空科学技術の研究開発

航空科学技術に関する研究開発の推進方策： 第4期科学技術基本計画期間における研究開発については、第3期と比べて、特に「出口志向の研究開発プロジェクト」、「戦略的な基礎・基盤研究」、「人材育成」を主眼において、先端的・基礎的な研究開発、関連施設・設備及び推進策の戦略的重点化を図る。

2011 (FY23)	2012 (FY24)	2013 (FY25)	2014 (FY26)	2015 (FY27)	2016 (FY28)	2017 (FY29)	2018 (FY30)	2019 (FY31)

「環境」及び「安全」に係る研究開発の重点化

防災関係機関と連携した研究開発の推進

国力の源泉となる独創的な技術への挑戦

国産旅客機等に関する航空科学技術の研究開発

前 / 中 / 後

航空環境技術の研究開発
- グリーンエンジン技術（エンジン高効率化）
- 低騒音化技術（航空機及びエンジン）
- エコウィング技術（複合材適用構造重量低減）

→ システム実証

航空安全技術の研究開発
- ウェザー･セーフティ･アビオニクス(晴天乱気流検知)
- 災害時航空機統合運用システム
- 機体安全性向上技術（構造健全性モニタリング）

→ システム実証

一部運航関係（DREAMS)継続

次世代航空技術の研究開発

前 / 中 / 後

次世代航空技術の研究開発
- 災害監視システム(滞空型無人航空機)
- エミッションフリー航空機技術(電動推進ｼｽﾃﾑ)

→ システム実証

静粛超音速機技術の研究開発
（第3期科学技術基本計画の継続研究開発課題）
- 要素技術研究
- 設計機体による飛行実験

ｿﾆｯｸﾌﾞｰﾑ基準策定

産学官の連携強化と航空技術人材の育成への貢献
- 研究開発成果を活用した講義・研修等の実施
- 航空科学技術コンソーシアム（仮称）の設立

→ 人材育成

グリーンイノベーションの推進及び豊かで質の高い国民生活の実現

- 世界最先端の低炭素化社会の実現
- 航空機の運航における安全性の向上
- 航空機の設計における安全性の向上や機体の検査補修技術の向上
- 社会に飛躍的な変革をもたらす航空輸送ブレークスルー技術の実現性を示す
- 世界的に優位となる超音速機技術の取得

今回審議する研究開発課題